

平成28年2月15日

長野県知事 阿部 守一 様

長野県救急医療機能評価委員会
委員長 岡田 啓治

長野県救急医療機能評価委員会（現地調査）の結果について（報告）

平成28年1月13日（水）に実施した機能評価（現地調査）の結果について、下記のとおり報告します。

記

1 調査対象施設

- (1) 伊那中央病院
- (2) 飯田市立病院

2 機能評価結果

(1) 伊那中央病院

前回調査時の指摘事項については、ハード面、ソフト面において、改善がされており、全体として高く評価できる。

なお、今後の一層の機能充実のため、以下の点で改善を要望する。

① 救命救急センターの備品管理について

事故の防止及び衛生上の観点から、処置室や検査室等の備品の整理・管理徹底について改善願います。

② 感染症対策について

感染防護具の適切な設置等、スタッフ及び患者の衛生管理・感染症対策の徹底について強化願います。

③ 地域の医療機関との役割分担について

高齢者の救急搬送が増加している中、救命救急センターのスタッフが疲弊し

ないように、地域の中核的医療機関として、地域の他の医療機関との機能分化・連携のシステムづくりを進めるよう願います。

④ 精神救急の充実について

精神科の身体疾患者の即時対応については、引き続き体制の充実を図っていただきたい。

⑤ 院内の協力体制について

院内の専門診療科と救命救急センターとの連携体制を充実していただきたい。

(2) 飯田市立病院

前回調査時の指摘事項については、ハード面において、改善されていること、少ない人員で効果的な運用がなされ、地域や院内との協力体制も構築されていることから、全体として高く評価できる。

なお、今後の一層の機能充実のため、以下の点で改善を要望する。

① 安全対策、感染症対策等について

事故の防止及び感染症対策の観点から、処置室や検査室等の備品、薬剤等の整理・管理徹底等について改善願います。

② スタッフの確保について

専従医の確保等、救命救急センターとしてのスタッフ体制の更なる充実・強化を検討願います。

③ データ管理について

重症患者傷病程度等の基礎的なデータの管理体制について改善願います。

④ 精神救急の充実について

精神科の身体疾患者の即時対応については、引き続き体制の充実を図っていただきたい。